



・発行者・
京都障害者
スポーツ振興
会
題字 芝田 徳造

飯田博 振興会副会長

兼理事長の死を悼む

京都障害者スポーツ振興会 顧問 水谷裕

振興会事務局から当会副会長兼理事長の飯田博氏が急逝されたという訃報連絡を受けた時、「エッなんで！」という驚きと、同時に法人化を前に「大変なことになった」という思いが巡りました。

飯田氏との出会いは古く、昭和60年頃、京都府の障害福祉課に飯田氏が赴任され京都障害者スポーツ振興会との窓口になられて以来のお付き合いでした。

飯田氏は、在任中から障害のある人々のスポーツに関心を示され、障害福祉課を離れた後も、振興会活動にスタッフとして積極的に参加をされるようになり、とりわけ、私の後を引き受けて車いすハンドボールの普及・振興に努められるとともに、『全国車

いす駅伝競走大会』の京都Bチームの監督として、ずっと、選手の養成・強化等を図るなど車いすスポーツを中心に力を注がれるという業績を残されました。

また、振興会の副会長兼理事長として理事會を統括し、会の運営を円滑に進め、どのような場面にも弾力的に対応をして、障害のある人々の継続性のあるスポーツ活動を精力的に発展のさせるために活躍されてきた他、昨今では法人化に向けて森津会長とともに前面に立って動いて貰っていた方だけに残念でなりません。

これらの幾多の功績があることは周知のことでしょう。京都障害者スポーツ振興会のスタッフ全員で飯

田理事長のご遺志を引き継いで、障害のある人々のスポーツ支援と更なる環境の構築を行って行きたいと思えますので、安らかにご永眠ください。

飯田理事長、永きにわたり大変ご苦勞様でした。本当にありがとうございました。京都障害者スポーツ振興会スタッフ一同、心よりご冥福をお祈りいたします。

追伸、奥様談ですが、お嬢さんが「もう少し気持ちが悪そうしたら、父の遺志を、ボランテニア活動をする」と、おっしゃっておられるとのこと。期待したいですね！！

飯田さんの

訃報を聞き

日本車椅子ハンドボール連盟理事 沖史也

私が飯田さんと初めて出会ったのは、平成15年の春でした。飯田さんは京都府立体育館に勤めておられました。私はテニスに関係しており、府立体育館で子供たちを対象にテニス

クリニックを開催することを計画し、飯田さんに相談しました。そのとき飯田さんは大変親切にお世話をしてくださり、テニスクリニックは、大変盛況に開催することができました。

それから数年たち、私は日本車椅子ハンドボール連盟に関わるようになりまし。平成21年和歌山市で開催された日本車椅子ハンドボール競技大会で久しぶりに飯田さんをお見かけしました。私は何も聞いておらず、まさか飯田さんがそこにおられるとは思いませんでした。飯田さんはドリマーズの監督として参加しておられ、連盟が発足した当初から参加しておられ、理事としても活動しておられたと聞きました。しかし、連盟と何があったのか、あの時から理事を離れられた。一方、古くから車椅子ハンドボールを支援されていた京都障害者スポーツセンターとは、考え方の違いから、連盟とは協力関係にはありませんでした。また、連盟が開催している日本車椅子ハンドボール競技大会は10年以上開催してありますが、チーム数もチームのある地域も増えることなく

(裏面へ続く)

行事予定	3月	14(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月の つどいは 4 / 9 第2日曜日
		18(土)	与謝野町スポーツのつどい	加悦地域公民館	
		19(日)	障害者スポーツのつどい	島津アリーナ(府立体育館)	
			障がい者水泳のつどい	伏見港公園プール	
	4月	26(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
		9(日)	障害者スポーツのつどい	島津アリーナ(府立体育館)	
		11(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
	15(土)	振興会スタッフ全体会	京都市障害者スポーツセンター		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ				TEL/FAX 075-712-7010	
http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/				(2016年8月21日に一部更新)	

(表面より)

停滞気味でした。連盟では車椅子ハンドボール競技をもっと全国に普及し、もつと多くの障がいのある人に参加できるようにしなければなりません。それには、とりあえず京都障害者スポーツセンターなどの協力を得なければならぬと思います。

京都障害者スポーツセンターの協力を得るため、飯田さんに理事に戻っていただくようお願いしました。しかし、飯田さんはこれまでのこともあり、すぐにはいい返事をいただけませんでした。やっと理事会などで、飯田さんから有益な意見をもらえらるようになり、また、連盟の会長も替わり、これから大きく変革しようとしていたところ、突然飯田さんの訃報を聞きました。これから、ご指導をしていただき、大きく変革できると思っていた連盟にとつて大変残念でなりません。本当に未だに信じられない思いです。今後、飯田さんの意思をしっかり汲み取って車椅子ハンドボールが普及するよう努力していきたいと思います。飯田さんのこれまで親

身にご指導いただいたことに心より感謝します。

* * * * *

障害者スポーツ体験会に

参加して

立命館大学4年

吉田 樹

私が障害者スポーツのつどいに参加したきっかけは同じゼミの後輩から声をかけてもらったからだ。もともとボランテニアには興味を持っていて、卒業前に一度参加しておきたいと思っていた。おきたいと思っていた。声をかけてもらったときはすぐに参加することを決めた。ボランテニアとしてしっかりサポートしなくてはという責任感と、もしかしたら一緒にスポーツするチャンスがあるかもしれないという期待感の両方を抱いて当日望んだ。

今回私はトランポリンとバスケットボールの2つのエリアで障害者の方と交流させていただいた。トランポリンのところでは、子供たちが無邪気に飛び回る姿を見てると私も笑顔になった。サポートはぎこちなかったかもし

れないが楽しくサポートすることができたと思う。時間が終わってもまだまばかりにトランポリンから離れない子もいて、参加する人みんなが体を動かすのが大好きなのだということが強印象として残っている。バスケットボールでは実際に自分もチームに入れてもらいミニゲームを楽しんだ。最初は、健常者である自分ばかりボールを持つてはいけないうちの選手からもちと「積極的に動いて！」と言われ、遠慮しては思う存分楽しめない気がした。そこから自分でもシュートを決めるときは決め、障害者の方にもパスしてシュートを打たせてあげるなどチームワークを維持しつつ思いつきりプレーしてきた。気づくと汗だくになっており、バスケットボールを心から楽しめたと思っている。

さんいることに気づかされる。それはつどいにおいても一緒だと思う。スポーツを楽しむたいと思ひ、体が不自由でも体育館にやってくる。スポーツを一生懸命やっている姿を見ると、健常者の自分ももちと頑張らなくちゃいけないと改めて感じさせられる。つどいに参加するとサポートしている自分が元気になることと、障害者の方と身近でふれあひ、頑張っている姿からエールを受けているからなのかなと思う。卒業が近くなり、参加できる機会は少なくなってきたが、次の機会に恵まれたらもう一度参加してみたいと思っている。

* * * * *

第28回 全国車いす駅伝記録

平成29年3月12日(日) 11時30分スタート 京都国際会館 ↓ 西京極陸上競技場 (21・3キロ)

3 2 1 大分 A 45分56秒 福岡 47分04秒 岡山 50分10秒

4	長野	51分33秒
5	京都A	52分23秒
6	京都B	54分56秒
7	大阪	55分30秒
8	大分B	57分17秒
9	佐賀	1時間00分23秒
10	福井	1時間01分05秒
11	埼玉	1時間03分10秒
12	高知	1時間03分23秒
13	仙台市	1時間05分21秒
14	中四国ブロック	1時間06分27秒
15	静岡	1時間09分07秒
16	愛知	1時間14分56秒
17	鹿児島	1時間18分24秒

区間賞	樋口政幸(長野)	12分09秒
二区	吉野誠二(大阪)	6分45秒
三区	笹原廣喜(大分A)	6分11秒
四区	山本浩之(福岡)	11分21秒
五区	西田宗城(大阪)	8分04秒